

夢はかなえるもの

教頭 吹野富美夫

「夢はかなえるもの」、この言葉は、アテネ、北京、そしてロンドンの各パラリンピックに日本代表陸上選手として出場した佐藤真海さんの著書『ラッキーガール』の一節です。

佐藤真海さんと言えば、2020年のオリンピック開催地が東京に決定した際の最終プレゼンテーションで、最初のスピーチを行い、オリンピックの東京招致に貢献したことで有名な方です。

佐藤さんは、宮城県気仙沼市に生まれ、中学校で陸上競技に出会い、早稲田大学に入学してからは憧れであった応援団のチアリーダーとして活躍していました。ところが、順風満帆であった大学2年生の時に骨肉腫という癌に襲われました。翌年、右足膝下を切除するという手術を受け、さらに抗がん剤治療により、髪の毛だけではなく眉毛やまつ毛まで抜けてしまう副作用とも闘いました。

しかし、佐藤さんは辛い試練に負けてはいませんでした。水泳でリハビリをするとともに、足に義足を付けることで、中学生の時に経験した陸上競技に再び出会い、何度も転びながらも立ち上がり、走り、そして跳び続けました。

陸上競技を続ける中、佐藤さんにパラリンピックに出場したいという夢が生まれました。夢は、いつか絶対にかねえたいという目標になり、一日一日を大切にするとともに、その目標に向かって全力を尽くしました。その結果、念願であったパラリンピックに3回連続で出場することができたのです。

皆さんも、是非、勝田高校で夢を見つけ、その夢をかなえるために挑戦してください。皆さんの挑戦を応援します。

平成 28 年 7 月 29 日